

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	企業等におけるワーク・ライフ・バランス推進の支援						掲載ページ		
							32		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		40,261	千円	44,513	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	男女共同参画推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行います。また、女性の経済的自立へのチャレンジを支援するため、就労相談や就業支援講座を行います。					
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け講演会の開催や、アドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけ ・従業員向け広報啓発や、出前育児講座の実施などによる個人（家庭）に対する働きかけ ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業 ・女性の就業支援講座の開催 						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>		前年度実績	目標	実績（達成率）	活動実績 活動結果は下記のとおりです。	
北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者（累計）		26 社（人）	31 社（人）	31 社（人）			
ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することにより、企業等における取り組みを支援・促進します。 <small>（最終目標と最終年度） -</small>				100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ		
ムーブ及びレディスでの女性向け就業支援講座参加者数		6,978 人	-	8,319 人			
就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行うため、男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて就業支援講座を開催します。 <small>（最終目標と最終年度） -</small>						順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス応援ソング」等を通じてPRを行うなど、活動状況は概ね予定どおり進みました。男女共同参画社会に関する調査（平成23年度）において、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」の認知度は64%と市民に浸透してきましたが、その「内容」について知らない人の割合が62.3%にのぼっており、さらに理解を進める必要があります。また、ムーブやレディスで、女性の経済的自立のためのキャリアアップ等を支援するための就業支援講座や就労相談等を開催するなど、概ね計画どおり実施しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的に、それぞれの立場から、地域や個人（家庭）、企業等に直接働きかけています。また、就業支援講座については、指定管理者制度を導入して、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
ワーク・ライフ・バランスという「言葉」や「内容」について、市民への一層の浸透を図るため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として関係機関との連携を図りながら、平成24年度も引き続き、推進キャンペーン等による広報啓発や企業の取組支援など、地域や個人（家庭）、企業等に積極的に働きかけていきます。また、女性の経済的自立へのチャレンジを支援するため、引き続きムーブ、レディスでの就業支援講座や就労相談等を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「北九州市職員の次世代育成支援プログラム」の推進						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	総務企画局
		1,830	千円	1,899	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	人材育成・女性活躍推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市職員が、自らの職務を積極的に果たしつつ、人生の各段階に応じて、仕事と家庭や地域社会における様々な活動を融和させ、ワークとライフの双方を充実させることができる職場を実現します。これにより、職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すとともに、多様な経験を持つ職員の視点を政策決定に取り入れ、市役所の政策力を高めます。				活動実績	職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、「ワーク・ライフ・バランス研修」や「ワーク・ライフ・バランス推進月間」を実施したほか、両立支援を図るため、「パパちから研修」「育休復帰支援研修」を実施しました。	
活動計画	「北九州市職員の次世代育成支援プログラム」に基づき、職員のワーク・ライフ・バランスの実現をめざし、意識改革・組織風土改革や仕事と私生活のバランスがとれる職場づくりを進めるため、ワーク・ライフ・バランス研修やワーク・ライフ・バランス推進月間の取組みを実施します。なお、研修の実施については、専門性のある民間事業者に一括委託することで実効性と効率性を高めます。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	男性職員の育児休業等取得率		3.9 %	単年度の目標設定はありません	2.4 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	女性職員だけでなく男性職員も子育てしやすい環境づくりを推進するため、国の行動指針を踏まえ、26年度までに10%に設定します。 （最終目標と目標年度）26年度までに10%				%			
	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合		71.1 %	単年度の目標設定はありません	%	順調	やや遅れ	
職員全体でワーク・ライフ・バランスがどの程度実現できているかを、20年8月実施の職員アンケート結果（69.4%）を基準に、25年度までに85%に設定します。（アンケートは隔年実施） （最終目標と目標年度）25年度までに85%		%			遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度はワーク・ライフ・バランス実現に向けて実践的に取り組むための研修や事業を予定通り実施しました。また、職員アンケートでは約7割以上の職員が「ワーク・ライフ・バランスがとれている」と回答しており、これまでの取組みの効果と考えられます。一方で男性職員の子育て支援制度の取得促進については、引き続き、情報提供や現状分析が必要と考えています。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	研修の企画・運営業務及びアンケートの実施について、平成23年度は新たに専門性を有する民間事業者に一括委託し、研修事業等を体系的・計画的に実施することで、各事業相互の連動による研修等の実効性と業務の効率化を図っています。

【Action】	目的実現のために平成24年度以降に実施すること
次年度以降も「北九州市職員の次世代育成支援プログラム」に掲げる各事業を効果的に実施し、職員の意識改革や組織風土改革を図るとともに、全ての職員のワーク・ライフ・バランスを推進し、仕事と私生活のどちらも充実させることができるよう、取り組んでまいります。	

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	有資格業者の登録における社会的責任・社会貢献の評価						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	契約室
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	管理課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取組を積極的に評価するため、入札参加資格業者の格付における主観点の評価項目の一つとして「子育て支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に加点します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです
活動計画	市入札参加資格業者のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の増加を目標としています。				
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	【活動の状況】
	市の入札参加資格業者(物品等供給業者)に対する評価対象業者数	50 社	前年度以上	51 社	大変順調
	市の入札参加資格業者(物品等供給業者)のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の毎年度の増加を目標としています。 (最終目標と最終年度)				
	市の入札参加資格業者(建設工事業者)に対する評価対象業者数	9 社	前年度以上	106 社	順調
市の入札参加資格業者(建設工事業者)のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の毎年度の増加を目標としています。 (最終目標と最終年度)	やや遅れ 遅れ				順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	物品等供給業者の評価対象企業数の増加が1社、建設工事業者の評価対象企業数の増加が97社です。入札参加資格業者の登録(定時受付)は、2年毎(入札参加資格業者名簿の有効期限)に実施されており、建設工事業者は平成23年度に登録を実施したため、評価対象企業が大きく増加しました。物品等供給業者の1社増加については、追加登録(随時受付)された企業です。評価対象企業数の増加については、それぞれの企業において、「子育て支援・男女共同参画」等への意識が高まってきた表れではないかと考えています。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現状でコストはほとんどかかっていないため、これ以上のコスト削減効果は見込めません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
事業を継続実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	総合評価落札方式						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	技術監理室
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	技術企画課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	<p>総合評価落札方式とは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の基本理念にのっとり、公共工事の発注に際して、価格だけでなく価格以外の技術的要素についても総合的に評価し落札者を決定することで公共工事の品質の確保を目指すもので、価格以外の評価の要素項目の一つとして、「子育て支援・男女共同参画」を設定し、以下の要件のいずれかを満たす場合に加点をすることとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年度以降、子育てと仕事の両立に向けた北九州市の表彰を受けた者（例）北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰など ・常用雇用者数1 			活動実績	当初の計画通り、事業を実施しました。
活動計画	「子育て支援・男女共同参画」に関する項目について、引き続き、総合評価落札方式における価格以外の評価項目として設定して、事業実施を継続します。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	（最終目標と最終年度）				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	（最終目標と最終年度）				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	工事及び設計業務委託の落札者決定にあたって、企業の「子育て支援・男女共同参画」に関する取り組みを直接評価することから、企業に対してのアピール度は高く、本事業は有効であると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	コスト不要で実施可能であるため経済性は高いと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
コスト不要で実施可能であり、かつ、企業における仕事と子育ての両立支援に寄与できるため、当面、同様の内容で事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	[6]次世代育成対策支援拠点の設置支援の検討 [7]「北九州市産業雇用戦略」に基づく、就業を通じ活躍する女性モデル事業 [8]女性が地元で活躍し、活躍できるような多様な就業機会の創出					掲載ページ			
						33			
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		339	千円	1,100	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	産業政策課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	少子・高齢化の進展により、労働力供給の減少が見込まれる中で、働きたい女性の能力を最大限に活かすためには、企業の積極的なワーク・ライフ・バランスへの取り組みが必要となります。そのため、企業のワーク・ライフ・バランスへの取組に対する支援を実施していきます。			活動実績	平成22年度に作成した企業向けの啓発パンフレット「実践ワーク・ライフ・バランス戦略」を、市内企業等約1,200箇所に配布・情報発信を行い、企業におけるワーク・ライフ・バランスへの取組を啓発・推進しました。パンフレットでは の制度紹介も行っています。 は、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」として取り組みを行いました。		
活動計画	関係部局と連携・共同しながら、市内企業の先進事例や支援制度等を発信 女性の活躍推進に取り組む企業のネットワーク化(「北九州ダイバーシティ・ネットワーク」の開催) 企業向け講演会の開催や「アドバイザー派遣事業」による社会保険労務士の派遣等により、企業の次世代育成支援対策推進法への対応や必要な相談等の支援の実施 は、いずれも「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の取組み							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者		5 社(人)	前年度と同程度	5 社(人)	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	当市においては、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進している企業等を表彰する「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」を実施しています。企業に対するワーク・ライフ・バランスの啓発・支援に努め、企業等の取り組みを促進することで、「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」において表彰される企業等の創出を図っていきます。 (最終目標と最終年度)					大変順調		
						順調		
					やや遅れ			
					遅れ			
					順調			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の取り組みのひとつとして、関係部局と連携しながら、先進事例の発信、個別相談会や講演会の開催、アドバイザー派遣等を実施し、企業等への啓発や支援、ネットワークづくりに貢献したと判断しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各団体における既存のネットワーク等を活用し、効果的・効率的な啓発活動等を行っています。特に今年度は、企業向けの啓発パンフレットを、(公財)北九州産業学術推進機構・中小企業支援センターが発行している情報誌「北九州ネットワーク」の提供先である市内企業等約1,200箇所に広く配布しており、非常に効率的に啓発活動を行うことができたと判断しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
女性の活躍する好事例集発信、セミナー開催や専門家派遣 女性の活躍推進に取り組む企業のネットワーク化 厚労省認定の「次世代育成支援マーク(くるみん)」取得支援や制度周知のための企業説明会、ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーの派遣などによる次世代育成支援対策推進法への対応や必要な相談等の支援

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	福利厚生の充実にに向けた企業等への広報・啓発						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	雇用開発室

【Plan】計画					【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	雇用環境の改善に向けた啓発の中で、子育て中の社員に対する福利厚生の充実に ついて、企業等の主体的な取組みを支援する国の各種助成制度の内容を紹介し、活用を促進し ます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市のサイト等により各種支援制度を紹介し ます。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	【活動の状況】		
	ホームページへのアクセス件数		707,144 件	-	693,112 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	当室では、広報・啓発活動の主なツールとしてホームページ「北九州しごと まるごと情報局」を作成し、活用しています。 （最終目標と最終年度）							
						大変順調	順調	
					順調			
					やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市の情報サイトでPR情報紹介を予定通り実施しました。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の施策で実施するセミナー等の機会や既存のサイトを活用し、経済的・効率的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市のサイト等により各種支援制度を引き続き紹介していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	事業主に対する公的助成金活用促進						掲載ページ		
							34		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	雇用開発室

【Plan】計画					【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	関係機関と連携し、雇用・労働情勢、労働時間短縮、長期休暇取得等の周知、PRに併せて助成金等について紹介します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市のサイト等により各種支援制度を紹介します。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)	【活動の状況】
	ホームページへのアクセス件数		707,144 件	-	693,112 件	大変順調
	当室では、広報・啓発活動の主なツールとしてホームページ「北九州しごまるごと情報局」を作成し、活用しています。 (最終目標と最終年度)					
						順調
					やや遅れ	
					遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市の情報サイトでPR情報紹介を予定通り実施しました。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」 「同じコストでより高い成果を」 得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の施策で実施するセミナー等の機会や既存のサイトを活用し、経済的・効率的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
企業訪問時、企業向けセミナー等でPRパンフを配付するとともに、本市のサイト等により各種支援制度を引き続き紹介していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	家族経営協定の推進						掲載ページ		
							34		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	地産地消推進課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	農家の意識改革を進めるため、休日・給料や仕事の分担などを定める家族経営協定制度の普及・啓発を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	農業生産者が集まる場にて啓発を行います。						
活動指標	ga		前年度実績	目標	実績 (達成率)	【活動の状況】	
	家族経営協定締結数(延べ数)		64 件	65 件	61 件		大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	家族経営協定は、女性や農業後継者が経営者の一員とし、農業経営に取り組んでいけるよう締結する契約であるため、指標として適当であると考えます。 (最終目標と最終年度)平成26年度 68件の締結				93.8 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	(最終目標と最終年度)		やや遅れ 遅れ	やや遅れ			

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 家族経営協定締結数(累計)は、61件となっております。引き続き制度の普及、啓発を図りたいと考えています。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 制度の普及には継続実施が重要であると考えています。長期的な視点をもって事業を実施していきたいと考えます。制度の普及のため今後ともあらゆる機会を利用して啓発していきたいと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
本市の農業の振興のため、経営現状と労働実態を改善することは必須です。中でも家族間の労働条件の整備は不可欠であると考えています。そのため、今後も事業の推進が必要であると考えています。また、農業生産者が集まる場にて、積極的に啓発活動を行いたいと考えています。